



長洲中だより

校訓
創 健 誠
造 康 実

第12号
校長(好調)室だより
発行 平成30年10月9日
文責 校長 中山直幸

平成30年度前期終業式！

10月5日、平成30年度の前期終業式を行いました。生徒には、「してもらえる幸せ」「自分で出来る幸せ」「してあげる幸せ」の3つの幸せの話をしました。特に、人から感謝される「してあげる幸せ」は最高の幸せだと思います。弁当づくりを通じて、プレゼント弁当の取組をしている学校の話をしました。自分の大切な人に食べてもらえる弁当づくりは「してあげる幸せ」を感じる一例です。自分自身も人から感謝されて生きる幸せを感じながら、豊かな生活を送りたいと思っています。

1年生にとっては初めての通知表、2年生は中学校生活の折り返し、3年生においては進路決定の時期をいよいよ向かえます。それぞれがこれまでを振り返り、新たな気持ちで後期を迎えてほしいと願っています。

また、生徒代表意見発表では、野村峻太君(1-2)、長谷川仁君(2-2)、橋村風花さん(3-1)の3名が言葉を述べてくれました。



生徒意見発表の様子

県中大連陸上！2位入賞

熊本県中学校総合体育大会陸上競技が9月29日熊本県総合運動公園陸上競技場で行われ、3年生の池田こまちさんが代表女子800m決勝で見事2位に入賞しました。

県内の各郡市代表が一堂に集う大会で、粘り強く予選を通過し、冷静に自分の走りに徹した結果です。10月17日行われる玉名荒尾中体連駅伝大会での活躍も大いに期待できます。おめでとうございます。



代表女子800mレースの様子

第4回地域の先輩に学ぶ！



6名の地域の先輩方

第4回「地域の先輩に学ぶ」講師一覧

クラス	講 師	勤務先
1の1	田中伏美	長洲町教育委員
1の2	宮路万里子	長洲錦鯉センター
2の1	塩山一英	有明消防本部長洲分署長
2の2	加藤可子	長洲町図書館
3の1	野田昌宏	荒尾警察署生活安全係長
3の2	竹口公之	荒尾警察署生活安全課長

朝自習の時間を利用し、本年度4回目となる「地域の先輩に学ぶ」を10月2日に実施しました。3年生の教室には荒尾警察署生活安全課からおいでいただき、いつもと違った緊張感の中、貴重な話をいただきました。いろいろな職業の方々からの経験談は、自分の将来の職業を考える良い機会になっていると思います。

特別支援学級体験学習！

9月28日、長洲町の特別支援学級に在籍する児童生徒が金魚と鯉の郷やB&G体育館で体験学習を行いました。好天に恵まれ、中学生が司会進行をしたり、縦割り班のリーダーとなったり、小学生を面倒見ながら一緒に、金魚すくいやストラックアウト、カラーリングなどのニュースポーツに楽しく参加しました。



B & G体育館でのレクレーション

秋晴れの写生大会！

写生大会を好天に恵まれた10月3日に行いました。長洲町のいろいろな所で絵を描く



絵画クラブの方々

長洲中学生を見かけられたと思います。本年度は、長洲町の絵画クラブから4名(竹下誠子さん、秋富紀子さん、春野美也子さん、大山彦子さん)においでいただき、巡回しながら生徒一人一人に声をかけて指導していただきました。昨年以上のレベルの高い作品が完成したのではないのでしょうか。お忙しい中、ご指導ありがとうございました。



長洲港で絵を描く生徒

「立腰」集会！

9月28日の朝、前期生徒アンケート結果で課題のあった学習規律を自分たちでつくるため、生徒会執行部が「立腰」集会を実施し、立腰の意義を説明してくれました。

立腰（りつよう）の効果

- ①やる気がおこる
- ②集中力がつく
- ③持続力がつく
- ④行動が俊敏になる
- ⑤内臓の働きがよくなり、健康的になる
- ⑥精神や身体のバランス感覚が鋭くなる
- ⑦身のこなしや振る舞いが美しくなる



立腰集会の様子！

長洲中をよくする会！

10月4日、第2回長洲中をよくする会を開催しました。今回は、学校関係者評価委員、PTA役員、長洲小、清里小のコミュニティスクール推進委員さん方らを案内し、7月に実施した生徒アンケートの結果など本校の現状報告と長洲中をよりよくするためのグループ別の「熟議」を行いました。また、指導助言に県統括コーディネーターの山平敏夫先生、長洲町コミュニティスクールデレクターの高森秀一先生、玉名教育事務所丸塚慎一郎社会教育主事にもおいでいただきました。

どのような長洲中学生になってほしいのか熱心に話をされるグループワークを見ながら、地域の方々の長洲中学校への熱い思いを感じました。



グループ別の熟議

自転車通学説明会！

来年度の自転車通学実施に向けて、モデル地区の家庭に自転車通学に向けての説明会が10月2日長洲町中央公民館で実施されました。現在、82名の生徒が自転車通学を希望しています。安全第一で自転車通学ができることが一番の願いです。部活動での登校と違い、毎日重い荷物を自転車に乗せて通学することで想定しない問題点が見つかるかもしれません。モデル地区での自転車通学生の子供がどうなるのか、地域の皆様に理解を得ながら、安全に通学するために保護者の皆様にご理解とご協力をお願いするかと思います。今後ともどうぞよろしくお願い致します。



自転車通学説明会での様子！